

作業プロセス: プラスチック部品の修理

プラスチック素地上のパテの使用

<p>小さな欠陥(損傷):</p>	<p>深さ1mmまでの小さな損傷(擦り傷)を復元する目的でパテを使用。パテは、小さな損傷に限定される</p>
<p>大きな欠陥(損傷):</p>	<p>大きな損傷(擦り傷・孔・割け傷)は、このタイプのダメージ用として特別に開発された材料で修理。それぞれのカーメーカーから承認された製品またはプラスチック溶接の特別な手順に従う</p> <p>ポリエステルパテ材料の使用は、ガラス繊維強化不飽和ポリエステル樹脂プラスチックの修理に限定される</p>
<p>パテの下塗り:</p>	<p>PPやEPDMプラスチック素材上にパテを塗付する時は、パテ付け前必ず密着向上を目的としてプラスチック付着プライマーを塗付する</p> <p>プラスチックの種類がわからない場合、常に予防策としてプラスチック付着プライマーを使用する</p>
<p>パテをシール:</p>	<p>パテ付け範囲はシールする</p> <p>Standoflex[®] 2K プラスチックプライマーサフェーサーU3200またはStandox[®] VOCプラスチックアディティブU7590と組み合わせたわせたStandox[®] VOCプライマーサフェーサーU7580または柔軟化したStandox[®] フィラー類でパテをシール</p> <p>最適な光沢を保つにはStandox[®] フィラー類を乾燥し研磨する</p>

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

作業プロセス: プラスチック部品の修理

	状態	前処理	
未塗装 プラスチック部品	ダメージ: 深さ1mmまでの擦り傷	・ 擦り傷を研磨	Standox [®] プラスチック塗装仕様参照
	ダメージ: 深いスクラッチ・穴開き・割け傷	・ プラスチック溶接メーカーマニュアルに従う (熱可塑性プラスチック素材のみ) ・ カーメーカーのガイドラインに沿ったプラスチックリペアセットを使用 使用方法はそれらのマニュアルを参照(*)	

(*) カーメーカー承認製品使用の事

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用するにはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

作業プロセス: プラスチック部品の修理

	状態	前処理	
塗装済み プラスチック部品	旧塗膜の付着不良	<ul style="list-style-type: none"> 旧塗膜を機械的に除去 クリーニング 	Standex® プラスチック塗装仕様参照
	ダメージ: 擦り傷	<ul style="list-style-type: none"> 部分的に旧塗膜を研磨 擦り傷を研磨 	
	ダメージ: 深いスクラッチ・穴 開き・割け傷	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック溶接メーカーマニュアルに従う (熱可塑性プラスチック素材のみ) カーメーカーのガイドラインに沿ったプラスチックリペアーセットを使用 使用方法はそれらのマニュアルを参照(*) 	

(*) カーメーカー承認製品使用の事

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」